



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2014～2015年度 RI会長 ゲイリー C. K. ホアン
RIテーマ ロータリーに輝きを

クラブテーマ「感謝の心で出席しよう」会長 矢岸貞夫

副会長 鈴木政則 幹事 小林 勝

第1201回例会 2014.10.3(金)晴

司会:小島 真君 指揮:岡 良森君
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 矢岸貞夫君

皆さん今晚は、本日はゲストとして、公務多忙の中、三島警察署東原署長をお招きしました。後ほど卓話をしてもらいますので宜しくお願いいたします。

今、三島署管内では、物騒な事件が起きております、早く解決できると良いです。日頃安心して生活ができるのも警察署の皆さんのお陰です。三島市民のために頑張ってください。

今日から新しい仲間二人が我がクラブに入会します、鈴木真知子さん、内田憲一さんです。この後、入会式を行います、今後ともよろしく宜しくお願いいたします。

10月は、職業奉仕と米山月間です。職業奉仕については、先週お話をしましたので、今週は米山について話をします。米山には、二つの組織があり、米山梅吉記念館とロータリー米山記念奨学事業です。今日は米山記念奨学事業について紹介します。公益財団法人ロータリー米山記念奨学会(米山奨学会)は、日本のロータリーが協同で運営する奨学財団です。米山奨学会では、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。なぜ、外国人留学生支援なのか?日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げたい、1952年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業、「米山基金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい、という、当時のローターアンたちの強い願いがあったのです。

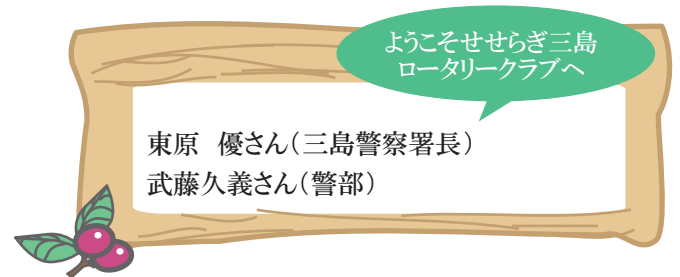
事業規模の大きさ

年間の奨学生採用数は約700人、事業費は12.4億円(2013年度決算)と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。これまでに支援した奨学生数は累計で18,104人(2014年7月現在)。その出身国は、世界123の国と地域に及びます。

皆様の寄付金はすべて奨学事業に

米山記念奨学事業は、皆さまから毎年いただく寄付で支えられています。2013～14年度の寄付金収入は13億3746万円と、過去5年間で最高額となりました。奨学金や補助

などの事業費は12億4350万円で、前年度に比べて1億円以上減少しました。これは主に、昨年4月から採用数を800人から700人へ縮減したことによるものです。事業費や人権費などの管理費支出は、資産の利子収入で賄っています。以上のように、米山奨学事業は皆さまのご寄付だけで成り立っています。継続的なご支援をお願いします。



出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	26/33	78.79%	31/33	93.94%
今回	28/35	80.00%	会員総数	36名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、遠藤君、久保君、土屋君、宮澤君、山本君、渡邊君

おめでとう

入会記念日 10月5日 鈴木政則君

第4回理事役員会報告

平成26年10月3日 金曜日・19時30分より

ブケ東海三島

出席者・矢岸貞夫 小林 勝 鈴木政則 石井邦夫
米山晴敏 山田定男 土屋 巧 山口雅弘
小島 真 服部光弥 中村 徹

司会者・小林 勝

①内田・鈴木、両氏の入会式

②スマイルを全会員で増額に努める。

卓話

三島警察署長 東原 優さん



今日は、矢岸さんから講話の依頼があり、皆さんの前で話すような話題もありませんが、管内の治安情勢について、少しお話ししたいと思います。

1 経歴

私は、警察人生40年近くやっておりますが、その多くは、警備関係が約20年、中でも外事警察が最も長く、約14年携わっています。勤務先は、本部が半分、県内、西は浜松、東は下田、松崎など県内ほぼ全域で勤務、この間、2回ほど関東管区の警察局に出向しています。

これまで扱った事件の主なものとしては、中国人による集団密入国事件、中国人留学生による偽造旅券工場の摘発、最近では県内企業による無人ヘリコプターの不正輸出事件などがあります。

そのほか、警務、交通、地域警察なども、短期間ですが担当しております。非常に転勤が多く、これまでに19回転勤しており、おかげで引っ越しに伴うダンボール詰めなど引っ越し技術はプロ並みに上達しました。私も卒業が近くなり、第2の就職は引っ越しの会社でしたら面接なしでもOKかなと自負しています。又、子供は小学校だけでも3校転校しています。家族にも大変な思いをさせたかなとも思っています。

2 三島警察署について

三島警察署は歴史があり、明治11年に初代署長が着任し、現在、91代目になります。署員は、警察官185人のほか、一般職員などを含めると約220人になります。このところベテランの職員の大量退職時代を迎え、実務経験の浅い警察官の割合が高くなっています。

3 留置場について

通常1部屋3人であり、冷暖房完備、中には待遇が良いことで志願して入ろうとする者もおります。食事は、1日1200円～1300円、2200カロリーの弁当が出ます。留置人からの要望があれば自弁(指定業者)もとることが可能です。ただし有料。その他お菓子やマンガを含めた雑誌、文庫本もOKです。もちろん事件関係や問題ある雑誌はチェックします。月2回の定期検診、そのほか体調が悪ければ通院をさせています。時間を指定して行くので待ち時間もなく、薬も充分に支給されます。これらはすべて税金での対応となります。

4 最近の管内での治安情勢

拳銃発砲事件がありました。内容については報道で流れた通りであります。現在、捜査本部を設け、犯人の割り出しに努めております。バイクに乗った2人組が白昼堂々と被害者をめがけて数発発砲しており、いわゆる暴力団の抗争事件とは少し筋が違うのではないかと見れますが、抗争に

発展する可能性も皆無ではなく、現在、関係情報の収集に努めております。捜査中であり、これ以上の内容は話せませんが、関連情報があれば是非、提供して頂きたいと思えます。

5 管内の交通情勢

昨年は、県下的に死亡事故が多発する中、当署管内では、件数、負傷者、死者数ともにトリプル減を達成しました。特に死者1名というのは、昭和28年に統計を取り始めて以来、最も少ない記録となります。

以上、管内の治安情勢のほんの一部を紹介させていただきましたが、警察としては、地域住民の安心、安全の確保に向け、そして当面は拳銃発砲事件の被疑者早期検挙に向け、鋭意捜査を継続する方針であります。今後ともよろしくお願ひします。



スマイルボックス

矢岸貞夫君: 今日から二人の新メンバー鈴木真知子さんと内田憲一さんが入会します。今後ともよろしくお願ひします。又、ゲストで三島警察東原署長がおみえになっております。後ほど卓話をよろしくお願ひします。

太田政人君: 2週続けてお休みしてしまいました。すみません。

石井邦夫君: ポケットにパンフレットを入れておきました。皆様のご子息や若い会員の皆様にご参加お願ひします。

米山晴敏君: 内田さん、勝又さん、鈴木さん、これから一緒に奉仕をしましょう。仲良くしてください。

服部光弥君: 例会受付で書籍を引っ張り出して申し訳ございません。皆様にはお買い上げいただき感謝いたします。それにしてもナゾ? です。どうして家内が本を出したのか? ナゾです。

加藤正幸君: パッケージプラザカウでは10/7(火)～11(土)まで秋のビッグセールを行います。チラシをポケットに入れてお願ひします。ぜひご利用下さい!

